

連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1333 2025/05/08 (THU)

発行 広島高校連絡会事務局

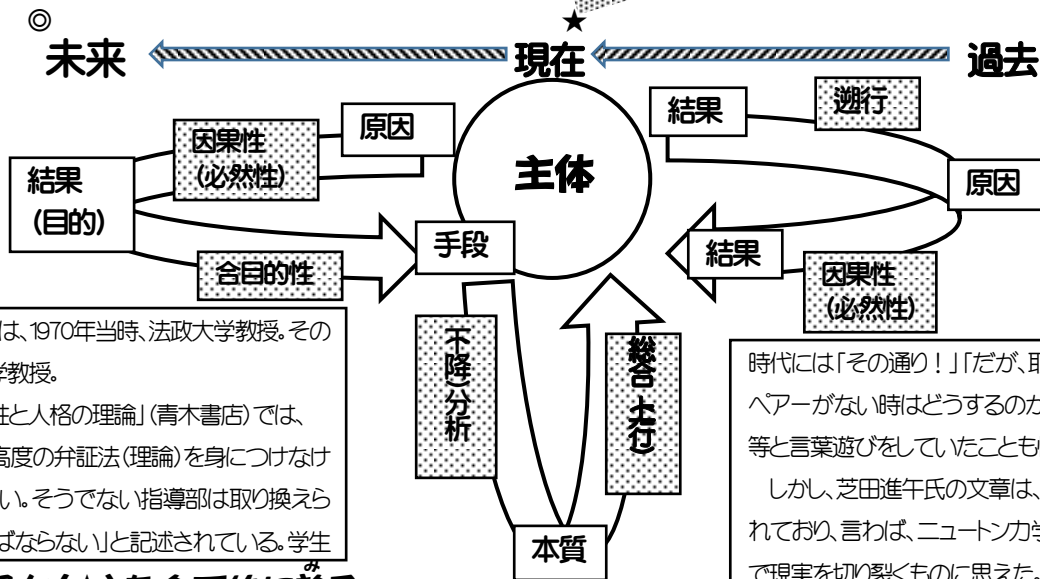
Email renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)

未来を切り拓くために！ 芝田進午★「人間性と人格の理論」より



私たちの現在(★)を全面的に診る

現在の生き苦しさを、ただ「苦しい苦しい」と叫んでみても、解決の糸口は見つからない。上の図の右半分を見て欲しい。

現在は、過去にあった「原因」の必然的「結果」としてある。だから、その原因を一つ一つ明らかにしてゆくことで、この苦しみの原因を掴むことが出来る。そして、その原因から現在の状況が、結果として生じるかどうか、を下半分の行程で、確かめることの重要さも確認したい。

さて、左半分では私たちは、未来を切り開く手段(方法)を掴むために、どのような未来(結果)を掴みたいのか?ははっきりさせることが大切です。そうでないとその結果を生み出す原因も曖昧になってしまうからです。

結果としての「未来」を創り出す原因を明確にしてこそ、現在の私たちの為すべきことが鮮明に分かるのです。

ここでも、下半分の過程を丁寧に押さえて、希望的な曖昧さがないかどうかを、丁寧に検証すべきです。

未来(結果)を作り出す「原因」が、今現在は存在していません。だからこそ、私たち自身が、「原因」となる状況を創り出すために努力するのです。しかし、その「生み出すべき『状況』原因」は、創り出せないように思わされています。誰もが、追い風の中では、元気になりますが、「無風」や「逆風」の下では、ある程度の努力では、とても成し遂げられない感じがします。

最後に主体(自分自身)の分析を、どうぞ

だからこそ、自分たちとはどれ程の力を持ち、弱点を明らかにし、その本質をしっかりと見据えて、上で分析した内容が科学的に間違いないかどうかを、しっかり集団的に確認して、自分たちの力を合わせるならば、達成可能な目標なのだ、徹底的に納得することを潜り抜けることが求められます。

科学的確信から燃えるような勇氣と情熱を！

人は、生き生きとした振る舞いや、キラキラとした情熱に、惹かれ共感し「行動を共にしたい」と思うものです。生命体が、生き残るための本能として、生命力あふれる中に、集団に惹かれるようになっているのでしょう。「れいわ新選組」「維新」などは、そのことを熟知して振舞っているようです。決して侮れませんね。(村井 義幸)

「六文銭」は、今週お休みします。